

出雲市民病院

◆ 摂食・嚥下評価

摂食・嚥下評価

実施日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

従命(不可・やや困難・良好) 頸部拘縮(あり・なし)
 口唇閉鎖(不可・やや困難・良好) 挺舌(不可・制限あり・良好) 構音障害(あり・なし)
 座位保持(不能・やや困難・良好) 摂食動作(不良・良好)《麻痺、筋力低下、失調、拘縮》
 胸郭コンプライアンス(低下・やや低下・良好)、喀痰(多量・少量・不可) 咳(弱い・やや弱い・良好)

発話明瞭度 ()	正常	↓	1. よく分かる 2. 時々分からない語がある程度 3. 聞き手が話題を知っていると内容が分かる程度 4. 時々分かる語がある程度 5. 全く発話内容が聞き取れない
①咽頭反射 右()左()	正常	↓	(+) 1 : 咽頭感覚(+), gag反射(+) (±) 2 : 咽頭感覚(+), gag反射(-) (-) 3 : 咽頭感覚(-), gag反射(-)
②反復唾液飲みテスト(RSST)	()		正常 : 30秒間に3回以上 異常 : 30秒間に2回未満
③水飲みテスト	正常	↓	1 : 1回でムセなく飲める 2 : 分割すればムセなく飲める 3 : 1回で飲めるが、その後ムセ込みあり 4 : 分割すれば飲める、途中でむせ込みあり 5 : 分割してもムセ(+), 全量飲めない
④改訂水飲みテスト 1回目 プロフィール() 2回目 プロフィール()	正常	↓	判定不能: 口から出す、無反応 5: 4に加えて追加嚥下運動が30秒以内に2回可能 4: 嚥下あり、むせなし、呼吸変化・湿性嚙声なし 3b: 嚥下あり、むせあり 3a: 嚥下あり、むせなし、湿性嚙声あり 2: 嚥下あり、むせなし、呼吸変化あり 1b: 嚥下なし、むせあり 異常 ↓ 1a: 嚥下なし、むせなし、湿性嚙声or呼吸変化あり
⑤フードテスト 1回目 プロフィール() 2回目 プロフィール()	正常	↓	判定不能: 口から出す、無反応 5: 嚥下あり、むせなし、嚙声・呼吸変化なし、口腔内残留なし 4: 嚥下あり、むせなし、湿性嚙声なし、口腔内残留あり、追加嚥下で残留消失 3c: 嚥下あり、むせなし、湿性嚙声なし、呼吸変化なし、口腔内残留あり 3b: 嚥下あり、むせあり、湿性嚙声あり 3a: 嚥下あり、むせなし、湿性嚙声あり 2: 嚥下あり、むせなし、呼吸変化あり 1b: 嚥下なし、むせあり 異常 ↓ 1a: 嚥下なし、むせなし、湿性嚙声or呼吸変化あり
⑥寺本の水飲みテスト 第1テスト: 0.4ml ()秒 第2テスト: 2ml ()秒	正常	↓	1 : 正常 ⇒ 0.4ml注入後3秒以内に嚥下反射(+) 2 : 軽度潜時遅延 ⇒ 0.4ml注入後嚥下反射(+) 3 : 潜時遅延 ⇒ 2ml注入後嚥下反射(+) 4 : 域値上昇 ⇒ 2ml注入後60秒経過しても嚥下反射(-)
⑤クエン酸吸入テスト	()		回/60秒)

レベル
Lv.1: 嚥下訓練を行っていない
Lv.2: 食物を用いない嚥下訓練を行っている
Lv.3: ごく少量の食物を用いた嚥下訓練を行っている
Lv.4: 1食未満の嚥下食を経口摂取している
Lv.5: 1-2食の嚥下食を経口摂取しているが代替栄養が主体
Lv.6: 3食の嚥下食を経口摂取が主体で不十分の代替栄養を行っている
Lv.7: 3食の嚥下食を経口摂取している代替栄養は行っていない
Lv.8: 特別食べにくいものを除いて3食経口摂取している
Lv.9: 食物の制限はなく、3食を経口摂取している
Lv.10: 摂食・嚥下障害に関する問題なし

グレード
Gr.1: 嚥下困難または不能 嚥下訓練なし
Gr.2: 基礎的嚥下訓練のみの適応あり
Gr.3: 条件が整えば誤嚥は減り、摂食訓練が可能
Gr.4: 楽しみとしての摂食は可能
Gr.5: 1部(1~2食)経口摂取が可能
Gr.6: 3食経口摂取が可能だが代替栄養が必要
Gr.7: 嚥下食で3食とも経口摂取が可能
Gr.8: 特別嚥下しにくい食品を除き3食経口摂取可能
Gr.9: 常食の経口摂取可能 臨床的観察と指導を要する
Gr.10: 正常の摂食・嚥下能力

主病名 _____ 副主病名 _____ 合併症 _____

障害名 _____ 既往歴 _____

・VF/VE後に決定
 ・間接訓練のみ実施(内容: _____)
 ・直接訓練実施 (食物形態: _____)
 姿勢: _____
 摂取方法: 自力・介助・その他 _____)
 ・摂食機能療法
 ・リハビリ (PT・OT・ST)